

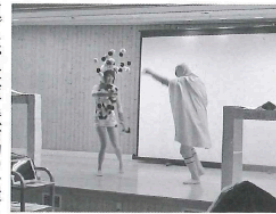
2015年4月1日発行



かわらばん

からだをまもるんジャー
北大遺制研が幼稚園で
熱演

北大の遺伝子病制御研究所（北



スタッフの名演技に園児たちは大興奮

区は、社会貢献活動の一環として、北区の白楊幼稚園で園児を対象に免疫の仕組みについて理解してもらったための「からだをまもるんジャーのはなし」の劇を行った。

回研究所は、生命科学や基礎医学を専門とする北大付属の研究所で、とくに免疫や感染症、がんに関する研究を行っている。今回の劇では、高岡晃教授研究所長を中心に、スタッフがまもるんジャーやばつちいーマンに変装し、体の中で繰り広げられている、細菌などの病原体と免疫細胞との戦いの様子をコミカルに表現。園児からは歓声が上がっていた。

また、用意した顕微鏡で各種病原体や免疫細胞を実際に見てみるコーナーも設け、園児たちは興味深そうにわかるがわる顕微鏡を覗いていた。回研究所では、今回の

イベントを通して、子どもたちに今まで感じたことのない新しいミクロの世界を垣間見る機会を提供することを目的としており、大学が地域社会に対して貢献できる一つの新しい窓口を提示したいと考えているという。